

就学援助 活用していますか？

学用品・給食・修学旅行費・入学準備費用などを補助



消費税増税による値上げの春。子育て世代には教育費もズッシリとのしかかっています。就学援助制度を活用して負担軽減を図りましょう。就学援助制度は、義務教育は無償と定めた憲法に基づき、すべての子どもたちがお金の心配をすることなく安心して学べるようにする制度です。

自治体によって内容や所得基準が違います

学用品費や給食代、修学旅行費、校外活動費、新入学準備費用などを補助しますが、国としての統一した基準がなく自治体によって援助の内容や金額、対象となる家庭の所得基準が異なり、周知方法や申請方法もまちまちです。

もっと制度をわかりやすく充実を

日本共産党議員団は市教委に対し、クラブ活動費や生徒会費、PTA会費も援助項目としている国基準に沿って充実させること、所得基準を引き上げて対象者を増やすこと、わかりやすい周知方法に改善すること、生活保護基準の引き下げに連動させて就学援助の所得基準を引き下げないこと、消費税増税分の援助費増額をはかることなど、要望してきました。その中で、具体的な所得基準を例示して周知するなどへ改善が図られてきました。

江南市の就学援助の対象者の基準

- ・要保護者・・・生活保護を利用する人。申請の必要なし。
- ・準要保護者・・・児童扶養手当の受給や各種税の減免を受けている人など、世帯全員の所得が市の定める認定基準所得以下の人（生活保護基準の1.2倍以下）など。申請の必要あり。

◎認定基準所得の目安（詳しくは市教委に問い合わせ下さい）

世帯人数	家族構成例	認定基準所得金額
2人	30代の母、小学生	約220万円
4人	30代の父と母、小学生、幼児	約300万円

*家族構成や年齢で金額が異なります。所得は年収とは異なります。認定基準所得とは、年間の世帯所得合計から社会保険料、生命保険料、地震保険料の控除額を引いた額です。

いこまいCAR値上げは年金者に打撃 片道700円→860円にも

市議団3人が地域ごとに開催した3月議会報告会では、市民から要望や意見が沢山寄せられました。

線路東側地域では、いこまいCARの4月からの大幅な値上げは年金生活者には堪える、病気で車に乗れなくなったとたん日常生活に困っているという切羽詰った声、大口町や扶桑町と共同でバスを走らせてほしいなど、便利なバスの実現を求める願いが改めて参加者から語られました。

医院の中には、いこまいCAR値上げの影響で通院に支障がないよう、独自の送迎サービスを強化した所も出ています。

調整区域の住宅建設条件を緩和 市が区域を指定、12月議会に条例案の提出予定

江南市は、市街化調整区域において住宅等の建設や地域振興のための工場、研究所の立地促進を図るため、都市計画法に基づく開発行為等の許可に関する条例を制定する予定です。3月の市議会全員協議会で当局から説明がありました。

住宅等の立地条件を緩和する区域を、市が要件を定めて指定。指定された区域内では、だれでも住宅などを建てるできるようになります。指定の要件として宅地化率40%を超える地域等を予定し、具体的には布袋駅東側、北部学校給食センター周辺、江南厚生病院北東地域を考えていることが明らかになりました。区域指定によって、都市計画税が課税されることはないとのこと。

今後、地元住民との意見交換会やパブリックコメントを経て、12月議会に条例案を提出、2015年4月施行の見込みです。しかし市街化区域内に残る未開発農地等との関係や今後の下水道整備計画の問題など、地元はもちろん市民全体への十分な説明が必要で

青木川拡幅に伴う犬山線の工事を視察

前野・江森町境にある青木川拡幅工事の現場を党議員団と市民で見学し、県一宮建設事務所の職員から説明を受けました。

青木川の川幅が名鉄犬山線の下をくぐる部分だけ狭く、豪雨時に周辺の江森町や扶桑町でたびたび浸水被害が発生してきました。この工事による川幅拡幅で大幅な被害軽減が期待できます。

工事は犬山線上下線をいったん仮線路に移し、河川の拡幅と鉄道橋、市道橋2橋を新設したのちに線路を元に戻す大掛かりなもので、工期は2015年までの5年間、全体事業費は約21億円。同時に、江南13号踏切の拡幅改修工事も市負担で行います。

現場では既に、鉄道橋下部工事と市道橋1橋が完成していました。



江南跨線橋の上から青木川拡幅工事現場を撮影（2月時点）

またこれに伴い、扶桑町境にあった歩行者用踏切が閉鎖され、代わりに約130mも江南よりの所に立体横断施設の建設が始まっていました。「普通の歩道橋より高くまで登らなくてはならない横断橋を、跨線橋がすぐ目の前にある場所に作って利用者がいるのか？」「閉鎖した踏切を復活できないのか？」と質問。

県職員から「名鉄は踏切を廃止していく方向で、横断橋建設は地元要望があったため」と説明を受けましたが、納得できるものではありませんでした。さらに詳しい数値等を示すよう求めています。